

- 龍ヶ崎市では、山林所有者の高齢化や担い手不足などから、手入れされない民有林が増加している。このため、森林環境譲与税を財源とした民有林整備事業を創設した。
- 令和7年度までに12件の取組を実施し、4件の危険木の伐採と1.51haの森林整備を行った。

□ 事業内容

私有林整備

- ・ 龍ヶ崎市民有林整備事業（補助率1/2 上限100万円）
- ・ 龍ヶ崎市危険木伐採事業（補助率1/2 上限15万円）

【事業費】4,300千円（うち譲与税4,300千円）

【実績】民有林整備事業 8件 4,862千円
危険木伐採事業 4件 538千円

□ 取組の背景

- ・ 近年市内の宅地が進み隣接する山林の管理依頼が増加に伴い荒廃した平地林の所有者の負担を軽減するために、森林環境譲与税を活用した整備事業と危険木伐採事業を創設しました。

□ 工夫・留意した点

- ・ 広報誌や公式ホームページでの啓発
- ・ 整備後に森林所有者と市で5年間の保全協定の締結
- ・ 本市は平地林が多く宅地が進み、住宅地周辺の森林整備を住民と一体となって推進し、快適環境の推進を図る。

□ 取組の効果

- ・ 整備によるごみの不法投棄の減少
- ・ 鳥獣被害の減少
- ・ 近隣住民からの苦情の減少
- ・ 快適環境の形成により、環境に対する意識の向上



（民有林整備）



（危険木伐採事業）



（危険木伐採事業）

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：11,383千円		②私有林人工林面積（※1）：400.76ha	
③林野率（※1）：8.0%	④人口（※2）：78,342人	⑤林業就業者数（※2）：3人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より